

**新**  
しい仲間



上原職員      小山 明利 さん      山崎 真緒 さん

利用者・職員の紹介♡



50周年記念特別号 (527号 528号合併号)

# きぼうねっと



※50周年記念マーク

所沢市立 きぼうの園  
〒359-0004  
埼玉県所沢市北原町 937-1  
TEL 04-2995-2851  
FAX 04-2996-2025  
E-Mail [kibou@coffee.ocn.ne.jp](mailto:kibou@coffee.ocn.ne.jp)

**楽**  
しい行事

## ◆ 第43回 所沢市民フェスティバル 福祉コーナー ◆

令和4年10月29・30日に所沢航空記念公園で3年ぶりの所沢市民フェスティバルが開催！両日共に良いお天気に恵まれたたくさんの方が来場されました。

きぼうの園は、今まで手織り布のハギレを詰め放題販売していましたが、今回はハギレとフォトフレームを使った「ておりアートワークショップ」を開催したところ、たくさんの方が参加され、笑顔いっぱいの作品を作ってくれました。他にも農福連携の野菜ジャムや手作り雑巾・キャンドルすくいなど大盛況でした！



**販**  
路拡大

## セルフバザール in 大宮駅コンコースに参加しました☆

一般社団法人埼玉県セルフセンター協議会が、多くの来場者を見込める場所での商品の販売・展示会を通じて、障害者就労施設の活動や商品を広く県民にPRし、理解と販路拡大を目指すことを目的とした販売会を開催しました。

令和4年12月におこなわれた「大宮駅販売会」にきぼうの園も参加し、「にんじん・さといものジャム「Scoop」(スコップ※廃棄野菜をすくうの意味)」や「手織りのカジュアルバッグ・マフラー」を販売しました。

開催場所がJR大宮駅コンコース中央連絡通路(駅構内)ということもあり、人通りの多い環境で商品を沢山の方々に見ていただくことができました。売り上げも3日間で110,480円と大好評でしたので、今回の経験を今後の自主生産品の販売に活かしていきたいと思えます。

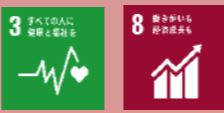


38事業所の商品がきれいに陳列

**地域の**  
**協力**

※資源回収ご協力者様※

中富南・北原町・中新井・光ハイツ・若松町・こぶし町・新井様・いちあん様・おもちゃグリム様・瀧野商事様・テフミック様・ミヤノ薬局様・フレッシュアリアヤマ様・早稲田書房様・東プロ様・金子電気商会様・相馬様・ラップタイマー様・ブリッジス様・村松フルーツ様・デイサービス「なかま」様・シマザキワーク様・ヤスタブレース様・新所沢美容組合様(ビューティーハウスしのぶ様・ビューティーサロンポーテ様・田中美容室様)・すずらん幼稚園様・そば処尾張屋様・明治安田生命保険相互会社所沢支所所沢西営業所様・トレーニングセンター様・埼玉西クライスラー株式会社様・ミヨシパック様・高橋様・江口住設様・秋草学園福祉教育専門学校様・トロンコーネ様・松井民生委員児童委員協議会様・司法書士みちのく事務所様・リニューアルトヨー様・カンセイコーポレーション様・所沢市斎場様・柳瀬ガス様



**自**  
治活動

## 利用者代表者会議やっています！



きぼうの園では、自分たちがやりたいことや考えたことなどを実現させるため、4名の代表者を中心に話し合いながら決めています。

この代表者会議では、工賃向上に向けた工賃の算出方法を見直す意見交換や、休憩時間にかき氷やおだんごを食べる企画、日帰り旅行で行きたい場所の提案などをおこなっています。企画の準備や片付けも自主的にやっています☆

また、50周年の記念に、日頃資源回収で使用しているトラックの「あおり板」も作成しました。

詳しくは2ページ目をご覧ください😊

**支**  
え合い

並木地区の「サロン幸福亭ぐるり(代表大山さん)」は、地域の皆さんの笑顔の為にいろいろな活動に協力されています。

今回は、「サロン幸福亭ぐるり」でおこなわれている地域活動をご紹介します。

まず1つ目は、「ぼかぼか広場並木8丁目」です。

コロナ禍前は毎月第2第4木曜に子ども食堂を実施していましたが、現在はフードパントリーの活動をされています。

取材当日は、きぼうの園の災害時備蓄品の中から賞味期限のせまった(※3ヶ月前)保存食を活用していただけるようお渡ししてきました。



ぼかぼか広場並木8丁目のみなさん。

食品を個々に分けていきます。

**健**  
康活動

2つ目は、「マッスル倶楽部」です。毎週火曜・土曜に活動している健康体操サークルです。今回は、利用者2名、職員2名で参加しました！マッスル倶楽部の皆さんと一緒に、「トコロん元気百歳体操」「とこちゃん体操」「誤嚥(ごえん)予防体操」「ダンベルダイエット」の筋肉体操を体験。普段意識しないと使わない筋肉を動かすので、意外とあなどれない体操でした(汗)



軽めのダンベルも  
持って体操は結構ハードです！

頬をぶくっと膨らませたりつぼめたり♪  
(誤嚥予防体操)



## ～創立50周年を迎えて～

指定管理者 社会福祉法人所沢市社会福祉協議会 会長 本橋 栄三

「所沢市立きぼうの園」が創立50周年を迎えました。この記念すべき節目を迎えることができましたのも、これまでさまざまな形で皆さまが支えてくれたおかげであり、社会福祉法人所沢市社会福祉協議会会長として心よりお祝い申し上げます。

きぼうの園 はこれまで、地域の知的障害のある方を中心に、一人ひとりの利用者に対しての尊厳を守り個々のニーズを考慮した個別支援計画のもと、社会参加の機会の確保及び地域社会における共生の実現に向けた支援をおこなってまいりました。創立から50年を振り返り、あらためて障害者支援の原点に立ち返り、権利擁護、障害者虐待防止を意識し利用者一人ひとりが住み慣れた地域でその人らしく、健康で豊かな生活が送れるよう、未来に向かって進化させることが私たちの役割だと考えております。

私ども所沢市社会福祉協議会は「第5次地域福祉活動計画 in 所沢ところ with プラン」にかかっている「市民が一緒につくる！健やかに自分らしく暮らせる 支え合う 心やさしいまち」を基本理念に運営させていただいております。

今後におきましても、地域社会の一員として協働し地域に貢献する持続可能な事業所づくりを目指してまいりますので、皆さま方より一層のご支援とご協力を賜ますようお願い申し上げます。



## 「これからも歩み続けます」

所沢市立きぼうの園 施設長 坪井 弘直

きぼうの園は、今年誕生50周年を迎えました。

ご縁あってこちらで皆さまと同じ時間を過ごさせていただいております。

この節目の年に立ち会えたことに大きな喜びを感じると共に、「きぼうの園」この名前に込められた思いの重さをひしひしと日々感じております。

共生社会・多様性という言葉を目にして久しいところではありますが、障がい者等を取り巻く環境はまだまだ、道半ばであると感じています。しかしここ数年、わずかではありますが社会が変化し始めていると皆さまも感じているのではないのでしょうか。その変化は、一步一步の努力の継続にほかならず、きぼうの園はその先頭に立ち、この歩みを止めることなく、利用者、ご家族に寄り添いながら地域福祉の推進、共生社会の実現へと歩を進めて行きたいと考えます。今までの50年をこれからの50年に 今日、そして明日への希望であり続けるために。 おめでとう 「きぼうの園」。



この度、きぼうの園 設立50周年を記念して「50周年記念ロゴ」を作成しました。いくつかのデザインの中から利用者の皆さんが選び、自分たちで色を塗って資源回収トラックのあおり板も作成しました（※下の写真）。  
「みんなで考え、みんなでつくる」きぼうの園の作品です☆



## 「所沢市立きぼうの園」創立50周年によせて

所沢市福祉部長 前田 広子

「所沢市立きぼうの園」が創立50周年を迎え、記念誌が発行されますことを、心からお祝い申し上げます。

昭和47年に西新井町で開所した「所沢市立きぼうの園」は、昭和61年には現在の北原町に移転し、織物、陶芸などの作業訓練や、買物、健康管理などの日常生活支援を通じ、利用者の社会参加と自立生活の支援を行ってまいりました。

その後、平成24年4月からは、障害者自立支援法に基づく就労継続支援B型事業所の指定を受け、現在は34名（※令和5年1月現在）の方が通所されています。

運営につきましては、昭和49年から「社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会」様にお願いしており、豊富な知識とご経験を活かし、長期にわたり安定した適切な支援を提供していただき、利用者やご家族の皆様にも評価をいただいているところでございます。

本市といたしましても、引き続き「第5次所沢市障害者支援計画」や「障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例」等に基づき、施策を推進してまいりますので、皆様方におかれましては、お力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、「所沢市立きぼうの園」の発展と、皆様のご健勝をお祈りいたしまして、祝辞といたします。



## 「きぼうの園創立50周年を記念して」

所沢市立きぼうの園保護者会 会長 牧 幸一

50年前は、私はまだ大学院生であった。あの頃どういう経緯できぼうの園が発足したか、寡聞にして知らない。ただ隣の秩父学園に障がい者の息子や娘を持つ保護者達がこれを立ち上げたと聞いている。それにしても保護者たちは市と協力して良くこれを発足させた、と思う。戦前などは、障がい者はなかなか社会に受け入れられずに、家庭内で隠れて隔離されていたのに、やっと普通の人と同様に世の中に姿を現した。こういうきっかけを作ってくれた諸先輩たちに改めて感謝し、お礼を述べたい。

私の息子がここにお世話になったのが今から28年前。つい10年ごろ前まで今は亡き妻が保護者としてきぼうの園にかかわってきた。そして今、私が定年を迎えてからこれにかかわっている。障がい者あつての社会である。

きぼうの園 も障がい者施設として堂々と自己表現、自己発信を続けてほしい。きぼうの園、永遠であれ。

## ～きぼうの園50年の流れ～

- |         |  |
|---------|--|
| 昭和47年5月 | きぼうの園 開所<br>所沢市西新井町旧憲兵隊跡建物を所沢市より借用                               |
| 昭和49年4月 | 所沢市社会福祉協議会の運営となる   |
| 昭和51年4月 | 所沢市喜多町にプレハブ園舎を建て移転   |
| 昭和59年4月 | 心身障害者授産施設委託事業に変更   |
| 昭和61年4月 | 所沢市社会福祉協議会が事業を受託   |
| 昭和61年5月 | 所沢市北原町に新園舎建設   |
| 平成24年4月 | 障害者総合支援法改正により<br>就労継続支援B型事業所となる<br>所沢市社会福祉協議会が指定管理者<br>となり現在に至る～ |



昭和51年プレハブ園舎



現在のきぼうの園